

平成31年 3月19日

熊本市長 大西一史様

団体名 特定非営利活動法人 優里の会
代表者 職名 理事長 氏名 八谷 斉



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成30年4月1日付け指令（地活）第1－13号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交付決定※を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第20条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

「里親制度の普及啓発と支援を強化するための事業」

2 助成事業の実施期間

平成30年 4月1日 ～ 平成31年 3月19日

3 助成事業の内容

- ・里親制度の普及啓発と児童の福祉を考えるための講演会
- ・区民祭り等において、広く市民に里親制度を理解してもらえるような広報啓発活動

4 事業の成果

この事業を通して、里親制度を社会一般に知らしめることや社会的養護の必要な子どもたちの熊本における現状や何が必要かを考える機会を設けることができた。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書（様式第16号）
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

事業報告書

実施年度	平成30年度
事業名	「里親制度の普及啓発と支援を強化するための事業」
事業期間	平成30年4月1日 ～ 平成31年3月19日
事業の目的	子育てについての熊本市の課題は多く、その中でも社会的養護の必要な子どもの状況は虐待を含めますます深刻化している。そこで、より多くの市民に対し、里親制度が社会的養護の必要な子どもたちに必要であることを区民まつりやショッピングセンター等を利用してアピールしたり、里親制度推進と充実のために、必要とされる支援は何かを共に考える講演会を実施し、今後益々重要になってくることを啓発する機会とする。
具体的な 事業内容	(事業の概要) 毎年里親制度の普及啓発を目的として講演会を開催しているが、今回は親子支援には何か必要かを参加者と共に考えるための講演会を開催した。 また、毎年参加している区民祭り・はあもにいフェスタに加えて、ショッピングセンター等でも広報啓発活動を行い、より多くの市民に里親制度を理解してもらえるような活動を行った。 1 里親家庭への支援を考える講演会 ・社会的養護の必要な子どもが家庭で健やかに育っていくためには、大人の適切な関わりと良好な親子関係が大切である。大人たちがそのようなスキルを学ぶことで、子どもの健全な成長と虐待の連鎖を防ぐことが期待できる。 ・子どもの福祉に関わる関係機関においては、それらは里親への支援、ひいては一般の家庭への支援にも活用することができるため、より多くの方と共に学ぶための講演会を開催した。 ①日時：平成30年5月26日 ②場所：熊本県総合福祉センター 研修ホール ③対象者：一般市民、里親、行政職員、施設職員、福祉関係者等 ◆講師謝金：28,000円 ◆講師交通費、宿泊費：46,380円(関西より招聘) ◆郵送料：32,276円 ◆会場使用料：16,700円(研修室ホール・第2・4会議室(控え室・託児室)) ◆事務費：20,945円 ◆印刷代：4,104円 ◆スタッフ交通費：3,000円 ◆委託費：託児5,827円、チラシデザイン20,000円 2 里親制度啓発活動 ・熊本市各区民祭り、はあもにいフェスタ、ショッピングセンター等において、里親制度の必要性をより多くの市民に知ってもらえるよう啓発活動を行う。啓発コーナーでは、展示してある制度に関するパネルを見ながらクイズに答える等楽しみながら学べるように工夫。相談コーナーでは、より詳しく話を聞きたい方への対応を実施。

	①日時：平成30年4月～平成31年3月 ②場所：各区役所の区民祭り開催場所、男女共同参画センターはあもにい、ショッピングセンター等 ◆掲示物制作費：23,145円 ◆粗品代：48,327円（くじ含む） ◆事務費：10,760円 ◆スタッフ交通費：10,000円 ◆掲示物デザイン費：25,000円
実施場所	熊本県総合福祉センター、区民祭り会場、男女共同参画センターはあもにい、ショッピングセンター
事業の効果 ・公益性	この事業を通して、里親制度をより多くの市民に知らしめることや、社会的養護の必要な子どもと里親への支援に何か必要かを考えることが期待できる。
次年度以降の 事業展望	行政（熊本市）だけでなく、民間企業とも連携して活動を行うことで、活発な里親制度の普及啓発を行うことができるのではないかと考えている。
事業への想い (当事業によってどのような熊本市にしていきたいか)	最新の厚生労働省の調査では、69 都道府県及び指定都市の中で、熊本市の里親委託率は、下から22番目という結果になっている。この事業を通して、多くの市民が子どもと里親制度に関心を持ち、何らかの行動を起こすきっかけになることで、熊本市が子育てに、より優しいまちに変わっていくことを目指していきたい。

事業収支決算書

項 目		金 額 (円)	内 訳
収 入	自己資金		会費
		23,000	当該事業による収益 @500円×46人=23,000円
		81,464	その他の自己資金
			寄附金・協賛金
	市民公益活動支援助成金	190,000	当該事業に対する助成希望額
	その他の補助金・助成金		
	計	294,464	
支 出	助成対象経費	人件費	
		報償費	28,000 講師謝金
		役務費	32,276 郵送料
		使用料・賃借料	16,700 講演会会場・託児・控え室使用料
		事務費	107,281 チラシ印刷代4,104円 事務消耗品・図書費31,705円 粗品代48,327円(くじ含む) 提示物製作材料費23,145円
		旅費	59,380 講師交通費46,380円 スタッフ交通費@1,000×13人
		委託費	50,827 チラシ等デザイン料、託児費、支払手数料
		その他	
		小計	294,464
	助成対象外経費		
		小計	
	計	294,464	